

## 6-2 事業報告交流会の実施

公益事業に対する理解の普及と協力を得ることを目的に、全国の大学・短期大学の関係者を対象に11月30日に関東地域（会場：私学会館）、12月4日に北海道・東北地域（会場：北海学園大学）、12月11日に関西・中国四国地域（会場：関西大学）、25年1月15日に九州地域（会場：福岡大学）にて向殿会長、事務局長が出向して実施した。

事業報告交流会には、43大学4短期大学から122名の教職員の参加があった。なお、非加盟校は12大学16名であった。以下に、実施結果を報告する。

- ① 交流会の実施結果について、72名から感想・意見を得ることができた。実施結果の報告について、「非常に良かった」25%、「良かった」55%、「普通」16%、「良くなかった」1%、「無記入」1%であった。
- ② 事業全般に対する感想は、主に次のようであった。事業活動が肯定的に受けとめられていることが確認できた。
  - \* 活動全般が理解できたので大いに参加・利用したい。
  - \* 以前より内容が充実しているので驚いた。
  - \* ICTを越えた大学教育の在り方を考えさせられた。
  - \* 中央教育審議会の情報提供について、教学マネジメントとからめての内容で参考になった。
  - \* 情報分野以外の教員参加を呼びかけて多方面に及ぶ活動をしていることが理解できた。
  - \* ICT教育を今後の政策にどのようにからめて考えていくべきかの指針について、わかりやすく説明いただいた。
  - \* 産学連携が特に参考になった。
  - \* 教育コンテンツの相互利用は是非利用したい。
  - \* 補助金活用に関する情報は大変参考になった。
- ③ 事業に対する要望として、主に次のような意見があった。
  - \* 教員組織のマネジメントが弱い大学が多いので、マネジメントを強化する具体的な取り組みの研修等を充実していただきたい。
  - \* 私学全体で利用できる「私学学修ポートフォリオ」、「私学IR管理システム」の開発により費用負担の軽減を図りたい。
  - \* 提言についてももう少し詳しく聞きたい。
  - \* 教育の産学連携について今後も続けて欲しい。
  - \* ICTに関するワークショップをもっと開いて欲しい。
  - \* 職員の能力開発は中小規模の大学で作ろうとしても難しいので、研修に力を入れて欲しい。
  - \* 災害時における大学の重要資産を保護する方法として、遠隔地域大学との情報資産の持ち合いの仲介を考えて欲しい。
  - \* クラウド移行に関する情報提供を望むなど。
- ④ 交流会の運営について、次のような意見があった。
  - \* 参加校が抱える課題の紹介などが行える情報交流の工夫を図る必要がある。
  - \* 関東地域での開催は『教育改革事務部門管理者会議』の後に実施するのではなく、改めて単独で日程を設定することが必要など。

なお、23年度の事業報告交流会で指摘があった本協会事業活動の定期的な大学へのメール配信については、24年度より毎月1日付で「大学配信メール」として加盟校の連絡担当者宛に送信し、会員代表者を經由して学内のWebサイトへの掲載、関連部署へのメール、紙面による回覧などで情報の周知を依頼している。